

## 令和5年第1回三浦市教育委員会臨時会会議録

○日 時 令和5年8月8日(火) 午後2時00分～午後4時14分

○場 所 三浦市交流センター 研修室

### ○次 第

1 開 会

2 署名委員の指名

石毛浩雄委員、石崎勇吾委員

3 審議事項

(1)議案第18号 令和6年度使用小学校教科用図書の採択について

4 閉 会

### ○出席委員(5名)

教 育 長 及 川 圭 介

教育長職務代理 石 毛 浩 雄

委 員 石 崎 勇 吾

委 員 廣 瀬 牧 実

委 員 石 渡 博 幸

### ○説明のために出席した職員

教 育 部 長 増 井 直 樹

学校教育課長 増 田 格 人

学校教育課指導主事 荒 井 俊 彦

教育総務課長 塚 本 孝 治

学校教育課指導主事 佐 藤 美 沙 樹

学校教育課指導主事 中 村 亮 太

### ○事務局出席者

教育総務課教育総務グループリーダー 浦 西 伸 一

教育総務課主事 吉 田 か お り

### ○傍 聴 (15名)

○及川教育長 ただいまより、令和5年第1回三浦市教育委員会臨時会を開会いたします。  
本日の臨時会の会議録署名委員に石毛委員と石崎委員を指名いたします。  
よろしくお願ひいたします。

○及川教育長 続きまして、次第3「審議事項」に入ります。議案第18号 令和6年度使用小学校教科用図書の採択について議題といたします。  
事務局より説明をお願いします。

○増田学校教育課長 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条の規定に基づき、令和6年度使用小学校教科用図書について採択するものでございます。

本件に関しましては、令和5年3月定例教育委員会におきまして、決定いたしました「令和5年度三浦市立小・中学校教科用図書採択方針」に則り、調査検討を依頼した三浦市教科用図書採択検討委員会の協議内容等の説明と報告をさせていただきます。

三浦市教科用図書採択検討委員会においては、各教科の調査員が作成した資料、学校研究会が作成した資料、また併せて教科用図書展示会において、保護者、市民からの声を資料として御協議いただきました。

事前にお渡ししている資料1から4と神奈川県教育委員会調査研究の結果資料が三浦市教科用図書採択検討委員会で参考とした資料となります。

三浦市教科用図書検討委員会におきましては、教科種目ごとの調査員、学校研究会の資料等を踏まえ、児童の状況、実態等を考慮して審議いただき、三浦市の児童にとってより優れているもの、適したものとして御審議いただいたものをこれから御報告します。令和6年度使用小学校教科用図書の採択については、1種目ずつ御審議をいただき児童にとって最もふさわしいものを選定いただくようお願いいたします。

なお、この報告につきましては、ここで行っていただきます採択に関して縛りをかけるものではありませんので、併せて申し添えをさせていただきたいと思ひます。説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。御質問等がありましたらお願ひいたします。

(質問等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。ないようですので、審議にうつります。

それでは、令和6年度使用小学校教科用図書の採択について1種目ずつ審議を進めてまいりたいと思ひます。先程も説明がありましたけれども、三浦市の児童にとって最もふさわしいものを選定していきたいと思ひます。説明がありましたが、お手元に資料1から4、県の資料はございますでしょうか。そのようなものも参考にいただきながら、最終的には教育委員の皆さん一人一人の責任において決めていただくようになりますので、よろしくお願ひいたします。

なお、採択の進め方としては、この後1種目ずつ13種目について、まず初めに採択検討委員会からの報告を事務局より1種目ごとに説明をしてもらいます。そのことについての質問、皆さんからの意見いろいろといただきながら、最終的に採択候補1社を選んでいく進め方としたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○及川教育長　それでは、まず初めに「国語」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長　まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

- ・むかしながらのなじみのある教材がある。
- ・二次元コードについては、サイトが作成されていて見やすく使いやすい。

【教育出版】

- ・新しくわくわくする教材が多い。
- ・二次元コードについては、サイトが作成されていて見やすく使いやすい。

【光村図書】

- ・親しみやすい教材があり意欲をもって学習できる。
- ・見通しと振り返りが明示されていて学びやすい。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、3社のうち、より適した三浦市の小学校で使用する教科用図書、国語として、「光村図書」を◎、「東京書籍」「教育出版」の2社が同列の○として報告されました。

議案、資料3ページ「令和6年度使用小学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。検討の視点として、主に以下の3点をポイントに比較検討いたしました。

1点目、教育研究会の調査結果、これは現場の先生方の声、現場の教職員が授業をしやすいかどうか。

2点目、学校現場の実態に沿った教材配列で、且つ教師が実情に合わせてアレンジすることができるか。

3点目、三浦の児童にとって扱いやすく、新しい学習指導要領の趣旨に沿った学習を進められる内容になっているか。

の3点です。

3社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について報告させていただきます。

まず、◎となりました「光村図書」の理由としましては、

・主体的、対話的で深い学びについて、単元の流れを示した「見通しをもとう」が掲載されている。

- ・親しみやすい教材があり児童が意欲をもって学習できる。

・教育研究会の調査結果において、「本校の子どもの実態からみて適切であるか」の項目の評価が高い。また、「児童にとってわかりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか」の項目の評価も高い。

次に○としている「東京書籍」の理由としましては、

・児童の理解が深まることや、課題解決をねらい、「思い出そう」や「資料室」などの二次元コードが掲載されている。

・二次元コードを今後、家庭学習で活用できる。

同じく○としている「教育出版」の理由としましては、

・児童の理解が深まることや、課題解決をねらい、「作者の紹介」や「活動の仕方を例示した動画」につながる二次元コードが掲載されている。

・二次元コードを今後、家庭学習で活用できる。

が挙げられました、説明は以上になります。

○及川教育長 説明は終わりました。

説明に対しての御質問、御意見等がありましたらお願いします。いかがでしょうか。

○廣瀬委員 私は、3社の教科書を見て、それぞれすごく印象的なところがありました。

まず、東京書籍は3年生の中で表現を工夫して言葉をつくるという箇所がありました。言葉集めの学習で、言葉を線で繋いで図式化、マップ化にして言葉を選んでいくという方法を使っていたんですけども、すごく今向きの手法を利用して分かりやすさがあるなと思いました。また、全学年ともポイントという欄がありまして、そこが馴染みやすく分かりやすさがあるかなという印象です。

教育出版については、2年生の教科書でAとCの2枚の写真の違い、その中にB、何があったかを想像して言葉にしようという学習があったんですけども、すごく想像力を掻き立てられるなと思いました。

光村図書については、読んで感じたことを話そうという学習ではかの2社にも同様の学習はありましたけれども、その中でもいいな、好きだなと自分が思ったところはどこですか。という表現がなされていて、自分の思いをより表現しやすいように表してくれている点はすごく好印象に思いました。

3社ともすごく優れていますので甲乙絞り切れない思いでいます。

○石渡委員 冒頭、教育長からもありましたが三浦の子どもたちにとってということ、つまりそれは先生方が目の前の子どもたちを見て、子どもたちの実態から適切であるかという研究調査委員会の各評価項目の17番にもありますが、「子どもの実態からみて適切であるか」というところの部分を重点に見させてもらいました。現場での経験から光村図書は馴染みやすさがあり使いやすいと感じていました。各社ともに努力はされていると思いますが、特に光村図書は絵の工夫など子どもたちに伝わりやすいのではないかなと思いました。

○石毛委員 石渡委員がおっしゃったように、子どもたちにとってよいというのは、授業を教える先生方にとっても教えやすい教材がよろしいのかなと思います。

その中で以前、事務局とお話をしたときに国語教育というのは、物語の関連から授業を組み立てることに対して意外と難しいという話を聞いたことがあるんですけども、その点をもう一度説明していただいてよろしいでしょうか。

○佐藤指導主事 特に国語については何を教えるべきなのか、どのような力を子どもたちに付けたいのか、というところが中々見えにくい教科でもあるかなと教員としては感じております。

その中で物語文については、どのような組み立てをしていけば子どもたちが主人公の気持ちを理解したりとか、場面の様子を理解したりするのかというところは、中々構想を立てるとするのは、経験が浅い先生にとっては作り難しさがあるのかなと思っています。

○石毛委員 今、御説明いただきましたように、三浦市内の小学校は単学級がほとんどであります。さらに学校の先生方、経験の浅い先生も結構いらっしゃると思いますが、その中で説明がありましたとおり授業を組み立てるのが大変だということで、馴染みのある教材がよいのではないかなと考えております。つきましては、現在も使用している光村図書がよいのではないかと考えております。

○石崎委員 協議結果にある 17 番「子どもの実態からみて適切か」の項目の評価が高いということは、先生方が、子どもたちが学びやすいと考えていることだと思うので私も光村図書がよいと思います。

○廣瀬委員 先程、甲乙つけがたいという話しをしましたがけれども、石毛委員、石崎委員からもありましたように、調査報告書の 17 番「実態から見て適切であるか」の評価が高いところでは、光村図書が子どもの実態には合っている教科書であると判断してもよいのかなと思いました。

○及川教育長 事務局に質問なんですけれども、この 17 番の項目について、三浦市のポイントはどのようになっていますか。

○増田学校教育課長 三浦市内の研究会での集計結果を申し上げます。

「本校の子どもの実態からみて適切であるか」について東京書籍 1、教育出版 0、光村図書 6 でございます。

○及川教育長 ありがとうございます。

今の三浦市内の様子を聞いても 17 番目の項目については、光村図書が三浦市内の先生たちの評価も高いということでもあります。

皆さんの意見を聞いていますと、馴染みがある、三浦市内の子どもたちの実態、先生たちの指導のしやすさ、ということを考えていくと三浦市に適しているのは光村図書ではないかという意見がほとんどではないかと思いますが、「国語」につきましては「光村図書」で御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「国語」については、「光村図書」で決定をさせていただきます。

○及川教育長　　続きまして、「書写」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長　　まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

・体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生活に活かして書く学習活動が設定されている。

【教育出版】

・情報活用能力の育成について、学習したことを他の学習や生活の中で生かす「レッツ・トライ」が設定されている。

【光村図書】

・国語の教科書で学んだことを関連させて学習することで、書写を生かすことができる。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、3社のうち、より適した三浦市の小学校で使用する教科用図書、書写として、「光村図書」が◎、「東京書籍」「教育出版」の2社が同列の○として報告されました。

議案、資料3 ページ「令和6年度使用小学校教科用図書検討協議結果」を御覧ください。

国語と同様、3つの視点をポイントに検討いただきました。

3社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

◎となった「光村図書」の理由としましては、

・国語科とのつながりを考えると、「リーフレット」の作成において、国語の教科書を生かすことで、さらに言語能力を高めることができる。

・研究会の調査結果において「本校の子どもの実態からみて適切であるか」の項目の評価が高い。

次に○となった「東京書籍」の理由としましては、

・言語能力の育成については、はがきを書くなど、学習した「書写のかぎ」に示された書き方をする学習活動が、「学びを生かそう」に設定されている。

同じく○となった「教育出版」の理由としましては、

・言語能力の育成について、学習したことを他の学習や生活の中で生かす「レッツ・トライ」が設定されている。

が挙げられました、以上です。

○及川教育長　　説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○石渡委員 3社から出されている教科書について、ビジュアル的にも3社ともによく精選されて作られていると感じました。

特に書写の教科書というのは、毛筆のときには机にいろいろな道具が入っていたりする中で、今の世の中A4サイズが主流のところ、あえてB5サイズに各社とも捉えてやっているところは考えていただいているなどと思いました。

その中で私が魅力を感じた部分は、国語科とのつながりを考えているというところで先程、事務局からも説明がありましたが、光村図書は国語の教科書を生かすことができる、さらにそれを進めると言語能力高めていくことができるのではないかとという点で魅力を感じています。

そして、リーフレットの作成をしたりすることの中では、他社の部分を含めて光村図書が若干、国語の教科書を生かすという点で優れているのではないかと考えました。

○石崎委員 各社二次元コードがありましたが、その中でも光村図書が一番その時に見たい情報がすぐに出てきて、国語のつながりから子どもたちにとっても使いやすい二次元コードであると判断できますので、私も光村図書がよいと思います。

○及川教育長 二次元コードの話が出ましたけれども、事務局のほうでももう少し具体的に説明できますか。

○荒井指導主事 (各委員のタブレットの画面設定)

○及川教育長 前回の教科書採択のときにこの二次元コードというのが初めて取り上げられたんですけども、前回の採択のポイントには入れなかったんですけども、各社とも充実しているので二次元コードの内容についても積極的に見ていこうということになっています。せっかくなので確認したいと思います。

○荒井指導主事 (画面を操作しながら) 光村図書は、見たいところをクリックすると見たい情報だけが開かれます。東京書籍も同じようにクリックすると見れるのですが、間違えて操作をしてしまうと違うページになってしまったりすることもあります。

○及川教育長 見たいところについては見る事が出来るけれども、操作を少し間違ってしまうと別のページに飛んでしまう可能性があるということでもあります。

子どもが授業の中で使うときに、間違えなく見続けられるという点では光村図書のほうが扱いやすいということですね。書写は特に筆のはこびなどもありますので、よく使う教科かなと思います。

○廣瀬委員 各社見せていただいて、子どもが迷わない点というのはとてもいいなと思いました。

私は、教科書のほうで3年生からスタートする毛筆の学習というページを見比べてみたんですけども、その中でも光村図書は、用具の準備、筆の扱い方などとても分かりやすく、丁

寧な説明だなと感じましたので、この部分については子どもの実態に合っているのではないかなと思いました。

○及川教育長 3年生からスタートする毛筆の導入のところの説明が丁寧ということですね。

○石毛委員 今の3人の委員のお話のとおり、内容的にはそのとおりだと思います。さらに調査研究報告書の評価の点につきましても光村図書は合計点非常に評価が高く、それに関しても授業を行う先生にとっても評価が高いという観点から光村図書がよいと考えます。

○及川教育長 委員の皆さんの御意見として、国語との連続性、二次元コードの操作性、先生たちの指導のしやすさ、子どもの実態に合っているというようなところでも光村図書が適当ではないかということなんですが、「書写」については、「光村図書」で、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「書写」については、「光村図書」で決定をさせていただきます。

○及川教育長 続いて、「社会」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

- ・4年生の単元で、水、ごみ、下水処理という流れが分かりやすい。

【教育出版】

- ・3、4年生で神奈川県素材が多く、親しみやすい。

【日本文教出版】

- ・SDGsと関連付けて学習ができるように、目標シールを活用できるようになっている。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、3社のうち、より適した三浦市の小学校で使用する教科用図書、社会として、「東京書籍」と「教育出版」の2社が同列○として報告されました。

議案、資料4ページ「令和6年度使用小学校教科用図書検討協議会結果」を御覧ください。

国語等と同様、3つの視点をポイントに検討いただきました。

2社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「東京書籍」の理由としましては、

- ・災害における自助の取組について取り上げるなど、主体的な学習活動に資する工夫や配慮がなされている。

- ・県外の素材が教材化されており、地域差を見比べやすい。



・上下分冊にすることで、持ち帰りに対応でき、歴史と政治を比較するなど児童が使いやすい工夫や配慮がされている。

次に「教育出版」の理由としましては、

・神奈川県素材を教材に取り入れるなど、児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされている。

・分冊ではないので、1年間の学びを振り返ることができる。

・建造物、服装など多彩な資料があり時代の変化や背景を理解しやすい。

が挙げられました。以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。いかがでしょうか。

○石毛委員 小学校の社会科の内容としましては、政治分野と歴史分野があるということで、各社のものを見させていただいた中で、東京書籍のように2つの分野が分かれている教科書のほうが、比較検討とか子どもたちにとって使いやすいと個人的に感じておりますので、東京書籍がよいと思っております。

○及川教育長 分かれていたほうが使いやすいということですね。

○石渡委員 石毛委員の発言の考え方もかなり有効であると思います。内容的には各社そんなに大きな開きはないのかなというのを感じながら、あえて分冊にしたものと1冊にしたものと考えてみました。そういう意味で、分冊でも当然振り返りはできますけれども、急に前に戻ったりということを考えれば、教育出版のように1冊にまとめたものであれば急な振り返りしやすいのではないかと、パッとどのようなことがあったか、歴史と公民の関連の部分もいいのではないかと感じました。

○及川教育長 現場的には、分冊よりも1冊であるほうが手元に必ずあるということですね。

○石崎委員 私も石渡委員の意見と同じになるんですけども、調査研究報告書の17番「子どもの実態に合った」の評価の部分で教育出版がいいのではないかと思います。

○及川教育長 先生たちも使いやすいということで17番の評価が教育出版のほうが高いということですね。

○廣瀬委員 特に優れているとされた理由の中でも神奈川県素材のことが書いてありましたけれども、3、4年生で神奈川県素材がたくさん取り入れられているという点では、子どもたちが自分が住んでいるところに興味をもちやすくて、その素材も生かすことができるのかなと思いますので教育出版がよいと思いました。

○石渡委員 1冊と分冊のことで先程意見を述べましたが、三浦にも副読本的なものはありませんが、それを広く神奈川県素材の中で扱っていただいている部分で、私も神奈川県素材を教材として扱っていただいたことはありがたいなと感じています。

○及川教育長 副読本の活用で補足することはできるかもしれないけれども、神奈川県素材があるほうが興味をもつだろうということですね。  
石毛委員いかがでしょうか。

○石毛委員 事務局に確認をしたいんですけれども、分冊、1冊というのは先生方、教育の現場のほうではどちらが優れているとかはあるのでしょうか。  
先程の分冊がよいというのは個人的な見解なんですけれども、特になければいいんですけれども、もしあれば教えていただきたいです。

○及川教育長 事務局で、分冊か1冊かというところで、実際に指導してきた経験の中で何かあればお願いします。

○中村指導主事 私の見解ですが、分冊になって持ち帰りが軽くなるというよい点もあるのですが、社会の教科書に関してはわりと学校に置いている場合もよくあるので、そうなりますと軽さに関してはあまり関係がないのかなと思います。  
やはり、石渡委員がおっしゃったように急なときに政治はどうだったかなと歴史のときに振り返ることもできるので1冊であるほうがよいのかなと思います。

○石毛委員 今、事務局からの説明や石渡委員、皆さんの意見を伺いまして、その内容であれば教育出版でよいのかなと思います。

○及川教育長 分冊にするかどうかという意見もでましたけれども、それについては特に問題ないということなんですけれども、そうすると皆さんの意見としては、神奈川県素材を多く使われている、馴染みやすい、また現場の先生方の評価も高いということで、「社会」については、「教育出版」で、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございました。

御異議ないようですので、「社会」については、「教育出版」で決定をさせていただきます。

○及川教育長 続きまして、「地図」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

- ・ホップ、ステップ、マップでジャンプという流れができています。
- ・色合いがはっきりしている。

**【帝国書院】**

- ・前半で宝島の地図を使った地図遊びがあり、3年生の地図学習で扱いやすい。
- ・淡い色で目に優しい。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、2社のうち、より適した三浦市の小学校で使用する教科用図書、地図として、「帝国書院」を◎、「東京書籍」を○として報告されました。

議案、資料4ページ「令和6年度使用小学校教科用図書検討協議会結果」を御覧ください。

社会等と同様、3つの視点をポイントに検討いただきました。2社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、◎となりました「帝国書院」の理由としましては、

- ・3学年の地図学習入門期においても使いやすい構成となっている。学年が上がると、詳細な表記で段階に応じた学びが可能となっている。

- ・研究会の調査結果において「本校の子どもの実態からみて適切であるか」の項目の評価が高い。

次に、○となりました「東京書籍」の理由としましては、

- ・色がはっきりしていて見やすい。

- ・資料が豊富で発展的な内容も含まれ、調べ学習にも使用でき、学びを深められる。

が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。いかがでしょうか。

○石渡委員 私もかつて子どものときに教科書を見て地図に親しんだという思い出があります。それを考えると特に3年生の導入から高学年にかかっている継続性や系統性といったものがあるのかなと思います。それから事務局からの説明にもありましたけれども、それ以上に自分が見ていたものからさらに帝国書院のほうが表記が見やすいのではないかなと感じました。

○石毛委員 東京書籍は、地図に付随する資料が豊富で情報量が多く、非常に見ごたえがありました。あとは色がはっきりしていて鮮やかで、大人からみても見ごたえがあるような教科書であると感じました。

帝国書院のほうは、すっきりまとまっており、見やすさの点では甲乙つけがたいですけれども、例えば3年生が初めて地図を開くときにどちらが良いのかなということを考えまして、3年生から入りやすいということだと帝国書院のほうなのかなと受けとめました。

確かにどちらの教科書も非常に素晴らしいものですが、3年生、9歳の子どもからしてみたら入りやすさの点でいえば帝国書院なのかなと感じました。

○及川教育長 子どもたちは3年生のときに初めて地図帳を手にする。その辺りも考えながらということでもあります。

○廣瀬委員 私も同意見で、開いたときに地図学習を始めたばかりの子どもにとっては帝国書院のほうが、扱いやすいのではないかなと思いました。あとは、帝国書院は全体的に表示が大きめで、細かすぎないということと色使いもすごく見やすいということ、それから「広く見渡す地図」というページがあったんですけれども、そういったものがあると地図学習を始めたばかりの子どもにとっては扱いやすいと感じました。

○石崎委員 私も同意見なんですけれども、実際に比べてみて事務局からも説明があったように、絵が見やすい、読みやすいというのを感じまして、読みやすいということは子どもたちも扱いやすいのではないかと考えられますので、帝国書院のほうがよろしいかなと思います。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。

確かに情報量としては、東京書籍のほうが多いですね。ただ、見やすさ、そして3年生の導入期の扱いやすさということで帝国書院のほうが良いのではないかという意見ですが、「地図」については、「帝国書院」で、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「地図」については、「帝国書院」で決定をさせていただきます。

○及川教育長 続きまして、「算数」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

・数学的な見方、考え方を働かせることに重点が置かれている。

【大日本図書】

・学習過程で獲得した数学的な見方、考え方が分かるよう、巻頭にシールをはることができるシートがある。

【学校図書】

・単位量あたりの学習を前半と後半の2回に分けている。

【教育出版】

・巻頭には、多様な考え方ができるようなトピック単元がある。

【啓林館】

・2年生の足し算、引き算で計算棒を使っている。

【日本文教出版】

・巻末に習熟度別3段階の補充問題がある。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、6社のうち、より適した三浦市の小学校で使用する教科用図書、算数として、「東京書籍」と「学校図書」が同列として、報告されました。

議案、資料4ページ「令和6年度使用小学校教科用図書検討協議会結果」を御覧ください。  
地図等と同様、3つの視点をポイントに検討いただきました。

2社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「東京書籍」の理由としましては、

- ・児童がつまずきやすい箇所に二次元コードが表示され指導上扱いやすい。
- ・日常生活と関連付けた内容があり、児童が問題を理解しやすく工夫されている。

次に、「学校図書」の理由としましては、

- ・つまずきやすい単位の学習を年間で前半と後半に分ける構成が、児童の実態に合っている。
- ・研究会の調査結果においても「本校の子どもの実態からみて適切であるか」の項目の評価が高い。

が挙げられました。説明は以上になります。

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○廣瀬委員 候補に挙げられていないところなんですけれども、私も学生のとときに算数でつまずいてしまったので、つまずきやすい教科であると思います。その視点では理解しやすいものがよいのだろうなと思いましたので、4年生の小数の学びのところでみてみたんですけれども、私は、教科書の中では教育出版が理解のしやすさ、見やすさというものを小数点のところで感じました。そういう点では、調査研究報告書の9番「学習の困難さに応じた工夫」、15番「題材の工夫や配慮」というところで評価が高くついているなとなっているので、理解のしやすさに結びついているのかなと感じました。

○及川教育長 検討委員会の選んだものとは違うけれどもという御意見でした。

○石崎委員 私は、東京書籍の二次元コードを見させてもらって、昔は実際に紙を切ったりして貼り付けたりして学んでいたものが、画面の中で回転ができたり、操作性が高く児童にとっても理解しやすい内容だと思います。

○及川教育長 東京書籍の内容で、二次元コードは操作性が高く、子どもたちも理解しやすいのではないかということです。

○石渡委員 私は検討委員会のほうにも出させていただいて、その中で論議があったのですが、私がすごく共感できたことは5、6年生の単位の学習の部分では子どもたちのつまずきやすかったのを感じていました。私自身の研修の中でも「1当たり量」を意識する2年生のかけ算九九から研究を進めたこともありました。そういった面で学校図書のほうはつまずきやすい単位の学習を年間の中で前半と後半に分けて、先ほども説明がありましたけれども、検討委員会の中でも意見が出ていました。そういうところで学校図書のほうがよいなと思いました。東

京書籍もいろいろなところで単元構成が工夫されていますが、私にとって単位量の部分が特に気になりましたので、学校図書を推したいと思います。

○及川教育長 石渡委員は、採択検討委員会の中で出た意見の報告も含めての御意見でした。

○石毛委員 石渡委員のお話も踏まえまして、調査研究報告書の評価は学校図書がほかよりも格段に高い。現場の先生方の評価だと思います。その中で三浦市での評価はどのようになっていますか。

○増田学校教育課長 こちらは全体の評価でよろしいでしょうか。

それでは三浦市の研究会の全体の合計欄の評価について報告いたします。

東京書籍 12、大日本図書 4、学校図書 28、教育出版 9、啓林館 5、日本文教出版 1 となっております。

○石毛委員 今回の説明を受けた限りでは、三浦市内の評価は特に学校図書が格段に高いという結果でした。それを踏まえまして、三浦の子どもたちにとって求められる教育が育成できるのは学校図書だと感じます。

○石崎委員 各社ともに優れているんですけども、今度は調査研究報告書の 17 番の評価を教えてください。

○増田学校教育課長 17 番「本校の子どもの実態からみて適切であるか」の三浦市内の集計をお伝えします。

東京書籍 1、大日本図書 0、学校図書 8、教育出版 1、啓林館 0、日本文教出版 0 でございます。

○石崎委員 今回の説明も含めてやはり学校図書が 17 番「子どもの実態に合っているか」の項目の評価が突出していますので、私も学校図書でよいと思います。

○及川教育長 廣瀬委員はほかの委員の御意見を聞いていかがでしょうか。

○廣瀬委員 そうですね、評価を見てみるとやはり突出していますし、皆さんの意見を聞きながら私も学校図書でいいかなと思いました。

○及川教育長 委員の皆さんの御意見がまとまりましたので、「算数」については、「学校図書」で、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「算数」については、「学校図書」で決定をさせていただきます。

○及川教育長　　続きまして、「理科」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長　　まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

**【東京書籍】**

- ・ A4判で大きさを活かした図や写真が見やすい。

**【大日本図書】**

- ・ A4判で写真が多く掲載され、二次元コードでリンクした動画を見ることができる。

**【学校図書】**

- ・ 理科の世界を冒険するロールプレイングゲーム的な設定で、各単元で育成を目指す資質、能力が3つずつモンスターのキャラクターによって表示される。

**【教育出版】**

- ・ 巻頭に前年度の学びのポイント、理科における見方、考え方が示され、縦のつながりが分かりやすい。

**【啓林館】**

- ・ 問題解決の道筋が明確である。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、5社のうち、より適した三浦市の小学校で使用する教科用図書、理科として、「東京書籍」と「大日本図書」が同列で報告されました。

議案、資料4 ページ「令和6年度使用小学校教科用図書検討協議会結果」を御覧ください。算数等と同様に、3つの視点をポイントに検討いただきました。

2社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「東京書籍」の理由については、

- ・ 各学年の巻末の一年間を振り返ろう、欄に当該学年の関連する次年度の学びが示され、見通しをもって学習が進められる。
- ・ 裏表紙にSDGsとの関連が示されている。
- ・ A4判で写真や図が多く、見やすい作りとなっている。
- ・ 研究会の調査結果において「学習指導要領の改訂における伝統や文化に関する教育の充実を踏まえた工夫や配慮がなされているか」の項目の評価が高い。

次に、「大日本図書」の理由としましては、

- ・ 「月と太陽」の学習において、三浦市の写真が採用されており、自分事として捉えることができ、興味関心が深められる内容となっている。
- ・ 学習のステップが均等で見通しがもちやすく、指導しやすい。
- ・ A4判で見やすい作りとなっている。
- ・ 研究会の調査結果において「本校の子どもの実態からみて適切であるか」の項目の評価が高い。

が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。  
御意見等がありましたらお願いします。

○石渡委員 検討委員会で絞った2社について、両社とも遜色なく、私自身もいいなと感じました。

その中で各社とも調査研究報告書の10番「児童にとって分かりやすい理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか」の評価が平均して高いところが遜色がないと感じさせられた部分であるのかなと思います。それだけ各社とも努力をされていると気がしております。

その中で一部の教材だけですけれども、事務局からも報告はありましたが「月と太陽の学習」の中で、あえて三浦市の写真が採用されているという部分で魅力を感じますし、そういう面では、子どもたちにインパクトがあったりするのかなと思いますので、大日本図書に魅力を感じます。

○廣瀬委員 私が見させていただいたところで、先ほどの説明にもあったんですけれども、東京書籍と大日本図書は、教科書が両社とも大きめで、大きめだと写真や実験の様子、文字使いの見やすさ、見た目のインパクトというのが構成上とても理解が子どもたちにはすごく興味も沸きますし、深まるのかなとそのような工夫がなされているなと思いました。

○石崎委員 大日本図書はデジタルコンテンツが充実しており、分かりやすい実験動画などが多くあり、本来実験って危険な部分もあると思うんですけれども、安全面などで考えてみても大日本図書がよいと思います。

○石毛委員 調査研究報告書の内容構成の評価なんですけれども、例えば5番「学習指導要領の改訂における伝統文化に関する教育の充実を踏まえた工夫や配慮がなされているか」では、東京書籍の評価が高く、大日本図書は低い、その次だと「学習指導要領の改訂における体験活動の充実を踏まえた工夫や配慮がなされているか」では東京書籍が低く、大日本図書は高いということは、各社力の入れ具合、入っているところはそれぞれ違いがあって、特色のある教科書づくりだなと実際に見て感じました。どちらが採用されたとしても三浦市の子どもたちにとっては、特色のある教科書で勉強されるのかなという感じを受けたんですけれども、あとはトータル評価ですよね。こちらですと大日本図書が高いという評価ですが、もう少し突き詰めて三浦市のみの評価はトータルの評価と変わりはないのでしょうか。

○増田学校教育課長 合計の三浦市の評価の集計についてお伝えします。  
東京書籍 13、大日本図書 20、学校図書 10、教育出版 10、啓林館 11 となっております。

○石毛委員 現場の先生方の評価を踏まえても、大日本図書のほうが評価が高いのであれば、私はどちらも甲乙つけがたかったんですけれども、その点を踏まえましても大日本図書のほうがよいのかなという気もいたします。



○及川教育長 甲乙つけがたいところはあるんだけど、三浦市の子どもや先生たちの指導のしやすさから考えると大日本図書のほうがよいのではないかとのことですが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、御異議ないようですので、三浦市の実態から考えて、「理科」については、「大日本図書」で決定をさせていただきます。

○及川教育長 続いて、「生活」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

- ・児童に身に付けさせたい力がよく示されている。
- ・教員が授業を作りやすい。

【大日本書籍】

- ・児童が興味、関心をもちやってみたいと思う工夫が多い。

【学校図書】

- ・中身がシンプルで、大きなイラストや美しく分かりやすい写真がある。

【教育出版】

- ・情報量が多く、使い方によっては学びが深まる。

【光村図書】

- ・児童に働きかける投げかけがあり、子どもたちに考えさせることができる。

【啓林館】

- ・「わくわく、いきいき、ぐんぐん」という3段階が、流れをつかみやすい。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、6社のうち、より適した三浦市の小学校で使用する教科用図書、生活として、「光村図書」を◎、「東京書籍」を○として、報告されました。

議案、資料5ページ「令和6年度使用小学校教科用図書検討協議会結果」を御覧ください。

理科等と同様に、3つの視点からご検討をいただきました。

2社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

◎としました「光村図書」の理由としましては、

- ・児童が不思議に思ったことや疑問に思ったことが4コマ漫画のように描かれており、興味をもって学べる作りとなっている。
- ・巻末の「きせつのなかまたち」を切り離して観察や探検の際に外に持っていくことができ、主体的に学べる。
- ・「ひろがるせいかつじてん」を活用することで、活動の仕方や作り方が分かり、見通しを持って活動ができる。

・児童に気付いてほしい視点の問いかけがあり、探求心をもって学びを持続することができる工夫がなされている。

次に、〇としました「東京書籍」の理由としましては、

・授業者が授業を作りやすいかたちとなっており、めあてをもち学習を進めることができる。  
・スタートカリキュラムを保護者の目線で説明するなど、幼保小連携の円滑な接続を踏まえた工夫や配慮がなされている。

・研究会の調査結果において「児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか」の項目の評価が高い。

が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○石毛委員 私は、東京書籍の優れているとされた理由にも書いてありますが、それぞれのヒント等が記載されておりまして、授業の子どもたちの見通しがもちやすい点とそれに伴って経験の浅い先生にとっては指導がしやすいのではないかなと思いました。

○石渡委員 5社出ておられましたが、各社とも生活の特徴である体験を大切にする学びをできるという点では、よく工夫されて作られているなと感じました。その中で、検討委員会の中でもあったのですが、より児童に自分たちの興味関心を引くという部分では、特に光村図書が良くできているのかなと思います。

あえて、個人的な思いですけれども、4コマ漫画で学びが進むような状況を表現されている光村図書に魅力を感じました。

○廣瀬委員 私は、光村図書の巻末資料を取り外しのできるインパクトがものすごい強く残っています。巻末資料の扱いについては、それだけを持って学習ができる持ち運びのしやすさということと、やっぱり子ども目線になったときに実際に手にしてみたときに子どもの興味がとても引き出されるもの、そういう資料だなと感じました。ですので、光村図書がとても印象に残っております。

○石崎委員 私も廣瀬委員と同意見ですけれども、子どもが興味をもって学べるそのきっかけを生む構成のよさは、やはり光村図書が一番かなと思います。

○及川教育長 東京書籍が優れている点、光村図書が優れている点出されていますけれども、そのほかいかがでしょうか。

○石毛委員 確かに別冊で分けるというのは魅力的だなという感じを受けました。その中で質問なんですけれども、学校の授業の中で分割して使うことのメリットは大きいのでしょうか。

○佐藤指導主事 生活科は、子どもたちが外に出て自然の中で自分で発見したり、楽しさを見つけていたりすることがとても重要になってくると思います。そのときに図鑑的なものが手元にあると、同じものを見つけたときの発見した喜びというのはもちやすいと思います。

○石毛委員 やはり小さな辞典的な分冊というのは、外に持ち出して子どもたちだけでなく、先生たちが授業を進めることに対して、非常に有意義で有効なものであると考えてよろしいでしょうか。

○佐藤指導主事 私としては、子どもたちがいろいろなものを自分で発見する喜びというものに出会ってほしいと感じていますので、そのときのきっかけになるものがあるのであれば、有効であると感じております。

○及川教育長 切り離しができるということによって、外に持ち出しやすく、持ちながらいろいろなものを観察しやすいということもあるということですね。

光村図書の分けて使うことができるということが、子どもたちに学習がしやすいということではないか、興味をもって外で発見する活動がしやすいのではないか、ということが多く出ていますけれどもいかがでしょうか。

○石毛委員 今の事務局の説明で十分理解させていただきました。特に生活という授業は、外に出て観察したり、理科の授業とリンクしてくるのだと思いますけれども、そういった思考や工夫を凝らした教科書というのは非常にメリットがあるんだなと感じましたので、光村図書がよいのかなと思います。

○及川教育長 光村図書が教科書の作りなども含めてよいのではないかという意見が多く出ていますが、「生活」については、「光村図書」で、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「生活」については、「光村図書」で決定をさせていただきます。

○及川教育長 続きまして、「音楽」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【教育出版】

・共通教材もしっかりありながら、子どもたちが馴染みやすい新曲が多い。

【教育芸術社】

・「みつける」「考える」「歌う」という学習課題が大きく表示されている。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、2社のうち、より適した三浦市の小学校で使用する教科用図書、音楽として、「教育出版」と「教育芸術社」が同列で報告されました。

議案、資料5ページ「令和6年度使用小学校教科用図書検討協議会結果」を御覧ください。

生活科等と同様に、3つの視点で検討していただきました。2社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

「教育出版」の理由としましては、

- ・自然をテーマにした教材が多く取り入れられている。
- ・新曲が多く、児童が音楽を身近に感じ、音楽を楽しみながら主体的に学習ができるよう工夫や配慮がなされている。

・初めての二部合唱が指導しやすい。

「教育芸術社」の理由としましては、

- ・馴染みの曲が多く、聴き慣れた教材を使用し、学習を進められる。
  - ・全ページに、二次元コードが使用され、主体的に学んだり情報活用能力を育成したりできるよう工夫、配慮されている。
  - ・系統的に合唱の技能が身につくように構成されており、学習活動に見通しをもちやすい。
- が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○石毛委員 音楽という科目ですけれども、幼稚園、保育園と幼児の時期から新たなステップアップとしての音楽の小学校の授業だと思えます。その中で音楽の授業をとおして、音楽的な感受性さらに音の美しさを感じる心など、音楽との豊かなかかわりをもってもらう教科書が望ましいと思っております。

今回優れたとされた理由に書かれておりますとおり、2社ともそれぞれの切込みで音楽の楽しさ、勉強していく上での身につく内容が引き出されているなどと思えます。現実的には切り出し方が微妙に変わってくると思えますが、2社とも甲乙つけがたい内容であるので、少し決めかねている状況です。

○石崎委員 私も調査研究報告書では差がないなと認識しております。ただ、その中で10番、12番、13番、17番の評価は教育出版が高く、これは児童が使いやすい点で優れているのではないかなと考えました。

○及川教育長 児童の使いやすさで考えると教育出版がよいとのことですね。

○廣瀬委員 教育出版は新曲を多く扱っているという点では、今どきの音楽を今の子どもたちが興味をもちやすいのかなと思いました。一方で、リコーダーや鍵盤、ハーモニカなどの導入の部分は、教育芸術社のほうが丁寧な説明がなされているなどと思いました。

○及川教育長 楽器の導入期の丁寧さからすると教育芸術社ではないかということですね。

○石渡委員 今回の現代の社会をみて、この4年間コロナ禍にあった子どもたちの状況の中で、具体的に授業を見たわけではないんですけども、歌を歌うということは差し控えられた授業が多かったのではないかと思います。そういう意味で自分自身のことを振り返ってみると歌というのは自分の心を表出するまた、いろいろな意味で声を出すということの大切さというのを特に老後に入っている自分は感じます。

検討委員会の中でも甲乙つけがたいとありましたけれども、私は教育芸術社の教科書のほうが系統的に合唱指導ができるのではないかと考えていて、教育芸術社のほうに魅力を感じます。

○及川教育長 ただいま意見が分かれています、いかがでしょうか。

○石崎委員 事務局より説明があった、馴染みの曲が多い点と廣瀬委員、石渡委員の意見の中で、音楽としての大事さという部分を考えると、私は子どもたちが使いやすい点で考えていたんですけども、音楽として物事を教えるとなると教育芸術社のほうが優れているのかなと考えが変わりました。

○及川教育長 石毛委員はいかがでしょう。

○石毛委員 そうですね。確かにコロナ禍で音楽に関してはしっかりと活動ができなかった状態で、今年度からそういった活動が再開してきたと思っておりますけれど、石渡委員の意見の中でも合唱指導という点で、小学校の合唱について今年度以降、活発になれるのでしょうか。子どもたちが期待しているような音楽の内容として受け止めているのでしょうか。

○増田学校教育課長 コロナの感染防止ということで、合唱は制限をするというかたちが長く続いていましたけれども、やはり声を出して歌うという喜びを、最近コロナの規制が解かれたところで子どもたちが非常に感じているなと思っています。特に卒業式に向けては合唱をするということがひとつの思い出になっていきますので、そういうところでは反映されているのかなと思います。

○石毛委員 教育指導的な内容として教科書を見比べていなかったのが見落とした点ではあるんですが、確かに楽器も含め、声を出すということはこれから煩雑になっていくのかなと考えてはいます。そういったところで、合唱指導、中学でも合唱コンクール等ありますので、その流れを受けて小学校でも系統的な合唱指導があれば、甲乙つけがたいんですけども、教育芸術社のほうが少しいいのではないかと感じている状況です。

○及川教育長 確かに決定的な部分を見つけることは難しいですけども、皆さんの意見ですと、楽器の導入期の指導や子どもたちが歌う合唱などの指導を系統的に扱っている点などを考えていくと教育芸術社のほうが優れているのではないかということですが、「音楽」については、「教育芸術社」で、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「音楽」については、「教育芸術社」で決定をさせていただきます。

○及川教育長　　続きまして、「図画工作」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長　　まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【開隆堂】

・片付けなどの説明、伸ばしたい能力、めあてが明示されている。

【日本文教出版】

・振り返りなどの流れが明示されていて、学習の進め方も分かりやすい。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、2社のうち、より適した三浦市の小学校で使用する教科用図書、図工として、「開隆堂」を◎、「日本文教出版」を○として、報告されました。

議案、資料5ページ「令和6年度使用小学校教科用図書検討協議会結果」を御覧ください。  
音楽等と同様に、3つの視点で検討していただきました。

2社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、◎としました「開隆堂」の理由としましては、

- ・ページの右下に振り返りがあり、低学年でも授業が進めやすい。
- ・二次元コードで読み取った動画のキャラクターが話をしているため分かりやすい。
- ・学習のめあてが表示してあり、児童が資質能力を発揮するための見通しがもちやすい。
- ・写真や作品例が見やすくはっきりしており、図鑑的に使用できる。

続きまして、○としました「日本文教出版」の理由としましては、

- ・導入、展開、まとめがあり、めあて、伸ばしたい力、振り返りが明確で力をつけやすい。
- ・写真集的に豊富な例があり、発展的な内容の扱いができる。

が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長　　説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○石渡委員　　私が現場にいるときも図工の教科書というのは、参考事例として用途が高かったかなと記憶しています。そういうものを活用していくという意味で、調査研究報告書の10番「児童にとって分かりやすく理解の深まるような構成上の工夫と配慮がなされているか」の評価が日本文教出版よりも開隆堂のほうが倍以上得点が上がっているかなと思いますので、開隆堂のほうが子どもたちにとっても先生にとっても使いやすいのではないかと思います。

○及川教育長 事務局、この10番について三浦市内の評価はいかがでしょう。

○増田学校教育課長 10番「児童にとって分かりやすく理解の深まるような構成上の工夫と配慮がなされているか」について、三浦市内の集計結果として、開隆堂4、日本文教出版0となっています。

○及川教育長 なおさら明確な違いがあるということですね。

○石毛委員 石渡委員の意見と重なってしまうかもしれませんが、文章、絵と写真のバランス的には開隆堂のほうが見やすく、子どもたちにとってもその点はいいのかなと思いました。さらに先程の10番の評価に置かしてもそれを裏付けるような三浦の評価だったのかなと受け止めております。個人的に開隆堂のほうに配置とかのバランスが見やすいのかなと思っています。

○廣瀬委員 私は、日本文教出版の廃材や自然物、身近にあるものの活用というものに興味がすごくそそられて、発展的な内容であるなと思いました。ただ、報告にもありましたけれども、8番、10番、12番、13番の調査研究報告書の評価がすごく高く数字的に出ているということで、全体的な工夫や配慮というところでいくとやはり、開隆堂のほうが良いのかなと感じました。

○石崎委員 皆さんの意見を踏まえて、調査研究報告書の17番の評価も開隆堂のほうが高く、全体的にも評価が高いので、私も開隆堂のほうがよいと思います。

○及川教育長 図工については2社ですが、皆さん開隆堂のほうに扱いやすい、子どもたちにとっても理解しやすく、分かりやすいというような配慮があるのではないかとということですが、図工については、「開隆堂」で、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「図工」については、「開隆堂」で決定をさせていただきます。

○及川教育長 続きまして、「家庭科」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

・持続可能な社会について学び、お金の使い方を考える単元が5年生からあることは、早い段階で学べてよい。

【開隆堂】

・中学校で学習する内容を見開きで解説し、中学校へのつながりを意識できる工夫がある。  
以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、2社のうち、より適した三浦市の小学校で使用する教科用図書、家庭として、「東京書籍」を◎、「開隆堂」を○として、報告されました。

議案、資料5 ページ「令和6年度使用小学校教科用図書検討協議会結果」を御覧ください。  
音楽等と同様に、3つの視点で検討していただきました。

2社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、◎としました「東京書籍」の理由としましては、

・5年生の段階でSDGsについて考える単元設定をしており5、6年2年間をとおして持続可能な社会について学ぶことができる。

・防災の視点に関わる表記が具体的になされており、児童が主体的に学ぶ構成になっている。

次に、○としました「開隆堂」の理由としましては、

・児童が見通しをもって学習できるよう、学びのめあての3ステップを示し、主体的、対話的で深い学びにつながる構成になっている。

・研究会の調査結果において「学習指導要領の改訂における伝統や文化に関する教育の充実を踏まえた工夫や配慮がなされているか」の項目の評価が高い。

が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○石渡委員 各社とも考えさせられる内容がきちんと網羅されているなどと思います。ただ、東京書籍は5年生の早い時期からSDGsを取り入れており、しかも2年間にわたって扱うということは現代的な社会の課題に適した部分かなと思います。また、未来を生きる子どもたちにとってこれから永続的に考えていく部分の出発にもなるかと思います。そういう意味で東京書籍について魅力を感じました。

○石毛委員 皆さん御存知のとおり三浦市は海洋教育に力を入れており、今年度は海業元年の年でもあります。

その中で家庭科の授業をとおして、SDGsの教育の観点を学んで環境への気付き、そして今後の発展性の重要性を踏まえると、海洋教育の絡みなんですけど、5、6年生で取り扱っている東京書籍のほうが三浦市の家庭という教科の教育においては、適切ではないのかなと感じております。

○廣瀬委員 私も同意見です。やっぱり5年生からSDGs、防災に視点を入れた学習ということは現代では小さいときから向き合わなければならない課題でもありますし、そこに組みこんでくれている東京書籍のほうがよいと思います。



○石崎委員　やはり子どものときから考えていく課題として、SDGsを先に取り入れているということはよいことだと思います。また、説明があったように児童が主体的に学ぶ構成になっているということで東京書籍がよいと思います。

○及川教育長　家庭科については皆さん東京書籍がよいという意見であります。現代的な課題を丁寧に扱っているということと、あとは三浦市の進める海洋教育などとも関連付けて学習ができるのではないかと考えておりますけれども、「家庭」については、「東京書籍」で、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「家庭」については、「東京書籍」で決定をさせていただきます。

○及川教育長　続きまして、「保健」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長　まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

・学習の進め方をステップ1～4で設定してあり保健の見方、考え方を働かせて考えることができる。

【大日本図書】

・折り込みカードがあり、児童が課題を掴みやすい。

【大修館】

・「話し合おう」「考えよう」「調べよう」「やってみよう」という小見出しで明示されることにより、児童にとっても、教える先生にとっても扱いやすい。

【文教社】

・各単元の終わりに「学習のまとめ」があり、「もう一歩先の自分へ」では学びを実生活に生かす工夫がされている。

【光文書院】

・保健を学ぶ意味を漫画風に伝えるなど児童が学ぶ意義を掴みやすい。

【学研】

・学習の進め方が一つ一つ示されていたり、他教科との関連が分かりやすく示されている。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、6社のうち、より適した三浦市の小学校で使用する教科用図書、保健として、「東京書籍」「光文書院」「学研」の3社が同列の○として報告されました。

議案、資料5ページ「令和6年度使用小学校教科用図書検討協議会結果」を御覧ください。

3社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「東京書籍」の理由としましては、

- ・学習のステップ1～4で設定されていて、流れが共通していて分かりやすい。
- ・メモや振り返りの欄があり、直接記入することができる。
- ・研究会の調査結果において「本校の子どもの実態からみて適切であるか」の項目の評価が高い。

次に、「光文書院」の理由としましては、

- ・活動の流れが明確で、指導しやすい
- ・指導内容の分量が適切で、児童の実態に合っている。
- ・研究会の調査結果において「本校の子どもの実態からみて適切であるか」の項目の評価が高い。

そして、「学研」の理由としましては、

- ・他教科との関連を明記しており、学習内容を深められるような資料が掲載されている。
- ・問題解決的な学習に取り組みやすいよう、課題設定がなされている。
- ・研究会の調査結果において「本校の子どもの実態からみて適切であるか」の項目の評価が高い。

が挙げられました。説明は以上です

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○石渡委員 研究報告書の中にもあったように17番の総合点においてこの3社に絞られたんだらうと感じていました。特に6社出ていましたけれども、各社ともに学んだことを生かすことができる点は評価できるなと思います。そういう意味でも3社は甲乙つけがたいと思いますが、私の中では学習の流れが明確だなという点では、先程も報告がありましたけれども光文書院かなと思います。

○廣瀬委員 保健もとても甲乙つけがたかったんですけども、その中で私は、光文書院は教科書のページ数が少ないなということと、調査研究報告書の11番「指導内容の分量とその配分が適切であるか」の項目の評価が高かったというその2点を合わせてみて見たときにやっぱり子どもの実態に合っていると思いますし、少ないというところでじっくり考える力を伸ばせるのではないかと思います。

○及川教育長 分量が適当であるということですね。

○石毛委員 3社とも見させていただいて、学研は、ほかの教科との関連付けで学習内容を深められるような狙いをつけているような内容になっているように思っておりました。ただ、気になる点で先程廣瀬委員がおっしゃっていたように分量という点なんですけど、事務局に確認したいんですけども、保健の授業の時間数は各学年で何時間くらいなのでしょう。

○中村指導主事 学習指導要領に記載している内容になりますけれども、3、4年生は2学年間で8単位時間、5、6年生が2学年で16単位時間となっています。

○石毛委員 ありがとうございます。

では、もう一点各社の教科書の内容はそれぞれ趣があって興味深かったんですけども、時間数が3、4年生で8時間、5、6年生で16時間となると、それなりに少ない時間の中で進めなければならない授業であります。そうしますと、廣瀬委員の先程の意見で、分量的な内容に関しまして、光文書院のほうが進めるにあたって丁度良い分量になってしまうのかなと思いました。

○及川教育長 少ない時間の中での指導を考えて、分量も適当なものがよいのではないかとこのことですね。

○石崎委員 見させていただいて、二次元コードの資料の違いは、各社差がないように感じました。調査研究報告書の総合点と「子どもの実態からみて適切であるか」の項目の評価を見ると光文書院のほうが高いので、光文書院がよいと思います。

○及川教育長 調査結果のポイントなどを考えると光文書院ということであります。

皆さんの意見を総合すると、学習の流れが明確であるということ、指導時間数がそれほど多くない中で指導をすることを考えたときの分量、あとは調査結果の総合的な評価ということからすると、光文書院が適切ではないかということですけども、「保健」については、「光文書院」で、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「保健」については、「光文書院」で決定をさせていただきます。

○及川教育長 続きまして、「外国語」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

・二次元コードや学習者用デジタル教科書で「プラス単語」を追加することができる。

【開隆堂】

・教科書の巻末に「C a n - D o チェック」があり、適切な学習ができる。

【三省堂】

・別冊の絵辞典があり5、6年生2年間で活用ができる。

【教育出版】

・録音、再生可能で、フィードバックに活かせる。

【光村図書】

・教科書の巻頭にC A N - D Oマップがあり、身に付けられる内容が明確に分かるよう工夫されている。

## 【啓林館】

・CAN-DOリストで子どもたちが4技能5領域別の目標を確認でき、到達度をチェックすることができる。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、6社のうち、より適した三浦市の小学校で使用する教科用図書、外国語として、「東京書籍」が◎、「開隆堂」「三省堂」「教育出版」「光村図書」が同列の○として、報告されました。

議案、資料6ページ「令和6年度使用小学校教科用図書検討協議会結果」を御覧ください。

5社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、◎となった「東京書籍」の理由としましては、

- ・授業者が進めやすい構成となっている。
- ・デジタル教科書に、オリジナル単語集を作成することができる。
- ・別冊の辞書があり、さらにクラスルームイングリッシュを追加することができ、児童の実態に合わせた指導ができる。
- ・現行の教科書の使いにくさが改善しており、指導がしやすい。

次に○となった「開隆堂」の理由としましては、

- ・別冊の辞書は調べたい単語がすぐに分かり、児童の言語能力を効果的に育成することに工夫や配慮がなされている。
  - ・研究会の調査結果において「小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか」の項目の評価が高い。
- 同じく○となった「三省堂」の理由としましては、
- ・別冊の絵辞書がついており、5、6年生で2年間の活用ができ、4線の上に単語が書かれているので、特に「書くこと」の学習で児童が言語能力を効果的に育成することができる。
  - ・研究会の調査結果において「各内容と分量とその配分について適切であるか」の項目の評価が高い。

同じく○となった「教育出版」の理由としましては、

- ・デジタル教科書に録音再生機能があり保存できる。
- ・録音再生ができるので、児童が「やりとり」「発表」の学習において、主体的に活動できる。

同じく○となった「光村図書」の理由としましては、

- ・デジタル教科書の読み上げ速度を児童が自ら変えられる設定になっており、主体的な学びを行うことができる。
- ・別冊の辞書は調べたい単語がすぐに分かり、児童が言語能力を効果的に育成することに工夫や配慮がなされている。

が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長 説明は終わりました。

御意見等がありましたらお願いします。

○石渡委員 昨年の学校訪問の際に英語の授業を参観したときは、デジタル教科書等が効果的に使われていたなと感じました。そういう意味で子どもたちも英語をとおしながらいろいろな発音を聞いたり、先生方も指導をするには非常に有効ではないかと感じながら、時代の成り行

きも感じておりました。そういう意味でデジタル教材が揃っているということで興味を引きました。

東京書籍の教材は、デジタル教科書を利用できるといった点では少し秀でているのかなと思います。

○廣瀬委員 評価もすごく大差がないなと思うんですけども、各社デジタル教科書の工夫がすごく進んでいるなと感じました。

その中で、光村図書のデジタル教科書が、読み上げの速度が自ら調節ができることにとても優れているなと感じました。やはり、そのことがそれぞれの子どもたち一人一人の実態に合わせて学べるのではないかなと思いました。

○石崎委員 私もデジタル教科書のさまざまな工夫は各社とも素晴らしいと思いました。

その中で、東京書籍はオリジナル単語集が追加できるのが魅力であるのと児童が読みやすく書きやすい書式等が取り入れられていたのでよいなと思いました。

○石毛委員 確かに二次元コード等で外国語、特に英語を実際の音声聞いて、外国語の勉強に非常に利点になるのは今の時代なのかなと感じました。各社ともにオリジナルで作られているのは評価できる点でございます。各委員のお話にあるとおりでと思います。その中で、甲乙つけがたいので、調査研究報告書のほうも確認したいのですけれども、それぞれの項目は60の合計数になっていますが、三浦市ではどのような評価結果になっているのでしょうか。

○増田学校教育課長 三浦市の合計の集計結果について報告いたします。

東京書籍 19、教育出版 12、三省堂 7、開隆堂 7、光村図書 12、啓林館 8 となっています。

○石毛委員 ちなみに17番はいかがでしょう。

○増田学校教育課長 17番「本校の子どもの実態からみて適切であるか」の三浦市の集計結果について報告いたします。

東京書籍 3、教育出版 3、三省堂 0、開隆堂 1、光村図書 1、啓林館 0 となっています。

○石毛委員 今回の報告を踏まえますと、東京書籍または光村図書の評価が高いのかなと思っております。17番については2ポイント差ではありますが、東京書籍のほうが評価が高く、全体的にも東京書籍のほうが高いのが、現場の評価なのかなと感じた次第です。

○石渡委員 先程もお話しましたが、教育委員の中から採択検討委員会のメンバーとして、聞いてきたりしましたが、その中で、現行として東京書籍を使っているという話を聞き、使いにくい部分はかなり改善されているとの話題もありました。そのような意味で考えると1年生は初めてなんですけれども、2、3年生については東京書籍のほうが継続的でその中で改善され、よりいろいろな部分でデジタル教材等も組み入れられながら教科書が作られているのかなと思います。

2市1町の総合点の中でも、高い部分もありますし、三浦市においては東京書籍が大きな部分を占めているのかなと思いますので、継続性のことも考えると東京書籍のほうがよいと考えます。

○及川教育長　今の調査員の報告なんですけれども、小学校の教員の中から各教科で調査員がいます。この外国語の調査委員から現在使っている東京書籍の教科用図書の中で、少し指導しにくいと思うところがあったんですけれども、今回の教科書では改善されていたという報告があったということでもあります。

○廣瀬委員　今、石渡委員がおっしゃっていた現行の教科書から改善されたということもありますし、子どもたちが使い慣れている継続性ということは、やはり子どもたちにとっては大切な要素ではないかなと思いました。評価が高くついているということは、教職員も含めて教科書の扱いやすさが表れているのかなと思いますので、私も東京書籍でよいと思います。

○及川教育長　委員の皆さんの意見ということで、多少差の付けにくいという方もいらっしゃいましたが、現行使っている継続性も含めて東京書籍でよいのではないかとの御意見かと思えますけれども、「外国語」については、「東京書籍」で、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「外国語」については、「東京書籍」で決定をさせていただきます。

○及川教育長　続きまして、「特別の教科、道徳」の説明をお願いします。

○増田学校教育課長　まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特長を報告いたします。

【東京書籍】

・映像を他教科でも使えたり、巻末に考えるためのツールがあったりする。

【教育出版】

・体験コーナーが設けられ、ロールプレイなどの学習ができる。

【光村図書】

・導入の発問が最初にある。

・SDGsと関連づけられるようになっている。

【日本文教出版】

・別冊ノートがあり、振り返りがしやすい。

【光文書院】

・巻末の振り返りで表情マークなどを書いて行うことができる。

【学研】

・教材に触れたときの感覚を大事にするために、主題が明記されていない。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、6社のうち、より適した三浦市の小学校で使用する教科用図書、特別の教科道徳として、「光村図書」「日本文教出版」「光文書院」が同列の〇として、報告されました。

議案、資料7ページ「令和6年度使用小学校教科用図書検討協議会結果」を御覧ください。

3社の教科用図書を候補といたしました理由について、特に優れているとされた理由について読み上げさせていただきます。

まず、「光村図書」の理由としましては、

- ・「生命の尊さ」に力点が置かれ、自他ともに大切にすることを意図した構成となっており、自尊感情を育てることにつながる。
- ・他教科や学校行事と関連付け、日常生活につながられるようになっている
- ・巻末にある「学びの記録」は、児童にとって適切な分量であり授業で学んだことを記録に残すことができる。

次に、「日本文教出版」の理由としましては、

- ・他教科との関連が重視されている。
- ・児童の振り返りができる別冊「道徳ノート」が用意されているが、その使い方については考えが分かれる。

次に、「光文書院」の理由としましては、

- ・社会とかかわる力に関して、防災やキャリア教育、情報教育など、現代的な課題を自らの問題として考えられる教材として配置している。
- ・巻末に「学びの足あと」が設けられ、発達段階に応じて表情マークや心の矢印で自分の気持ちを表すことができ、分かりやすく振り返ることができる。

が挙げられました。説明は以上です。

○及川教育長 説明が終わりました。

御意見等ございましたらお願いします。

○廣瀬委員 私は普段、乳幼児の世界にいますので、初めて道徳を学ぶ、そしておそらく道徳という言葉は初めて知るであろう1年生のことを思い描いて教科書を開いてみました。その中で、光村図書が分かりやすさ、理解のしやすさ、表現のしやすさということではとても優れているなという印象を受けました。また、シールを活用した「学びの記録」にもすごく楽しさがあるのを感じましたので、私は光村図書がよいと思います。

○及川教育長 保育園児が1年生に進んだことを想像しながら考えると、ということでありませう。

○石渡委員 調査研究報告書の中にも示されていますが、各社ともにそんなに大きな開きはないのかなと思います。検討委員会の中でも、その中で3社に絞られたのですが、私が一番今の子どもたちを目にして、一般的な日本の社会として、もっとも大切に考えてほしいということは、光村図書が主題で置いています「生命の尊さ」にすごく惹かれました。自尊感情を育てるということは、すごく大切なことだと思います。そういう意味で積極的に取り入れながら道徳

で言われる心の陶冶ということの教材をとおしながら、自分たちが育っていく中でそうした自尊感情を育てていくことは大切だなという思いから私は、光村図書を支持します。

○石崎委員 光文書院の防災、キャリア教育など現代的課題が多い現代において、児童が自らの問題点として考えられる点はよいと思います。

○石毛委員 内容的にはどこの教科書を見させていただいても問題がなく、素晴らしいと思いました。

違った視点から見させていただいたときに、光村図書と光文書院は学びの記録、足跡など振り返りの配置、分量が適当であるのではないかと思います。特にこの2社については、子どもたちが振り返るところで取り組みやすいのではないかと考えております。

○石崎委員 今使用している教科書が使い慣れているという点で、教員が指導しやすいという部分と調査研究報告書の12番「児童が使いやすい」、17番「子どもの実態からみて適切であるか」というところで光村図書が非常に高く、自分もどちらがよいのか言えない状況です。

○及川教育長 12番、17番の三浦市の数字はわかりますか。

○増田学校教育課長 三浦市の集計で12番についてまずお伝えします。

東京書籍0、教育出版2、光村図書3、日本文教出版0、光文書院1、学研1です。

次に17番「本校の子どもの実態からみて適切であるか」についての三浦市の集計は、東京書籍1、教育出版0、光村図書2、日本文教出版0、光文書院1、学研0となっています。

○及川教育長 今、光村図書と光文書院の2つで分かれていますけれども、光村図書のほうがやや上かなということですね。

○石崎委員 三浦市の総合の評価も教えてください。

○増田学校教育課長 三浦市の集計総合ですけれども、東京書籍8、教育出版12、光村図書19、日本文教出版10、光文書院16、学研9となっています。

○石崎委員 「三浦市の子どもの実態からみて適切であるか」という部分と三浦市の子どもたちにも合っているというところでは、光村図書の評価はいいなと思いました。

○石渡委員 そういう数値を見て、やっぱり大きく各社とも開きがないのかなと思います。

その中で持論を述べるのは申し訳ないんですが、何が魅力的か、教材として何がよいのか、子どもたちに何を考えてほしいか、育ってほしいか、という部分でそのあたりを考えると私が先程申し上げたことは、魅力的なのではないかなと思います。



○及川教育長 生命の尊さ、命の尊さというところを強調しているところがよいということですね。

○石毛委員 私が先程話した中では光村図書、光文書院について意見を述べさせていただきましたが、石崎委員が質問していた内容であれば、これはどちらであってもいいのかなと思いますが、甲乙つけがたいという点であると、現状慣れ親しんでいる若しくは評価の高いほうを選んでしまうかなと考えてしまいます。基本的には光村図書の取組、内容がよいのではないかなと思います。

○及川教育長 皆さんの意見の中では、初めて道德の授業を進める1年生にしたときには光村図書が入りやすいのではないかと、あとは指導をする中での中心に命の尊さということを中心を丁寧に扱っているということ、大きく差があるということではないけれども、三浦の子どもたちの実態、また今使っているものからの継続性を考えると光村図書がよいのではないかとということになるのではないかと思います。「特別の教科 道德」については、「光村図書」で、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

御異議ないようですので、「特別の教科 道德」については、「光村図書」で決定をさせていただきます。

以上で【国語】から【特別の教科 道德】までの13種目について、教科書の採択を終了いたします。

事務局で何かございますか。

○増田学校教育課長 学校教育法附則第9条、特別支援学級に学ぶ子どもたちの中での教科用図書採択について、今回希望が出ておりませんので御報告申し上げます。

また、7月末から8月に県内各市町村で採択が進められている状況です。それらに配慮し、本日の採択の結果の公開については、9月1日以降ということで、御配慮をお願いいたします。

○及川教育長 すでに7月末から他市町村、採択について進められているところですが、お互いに静謐な関係のもとで採択をしていこうということが基本になりますので、今日の結果についてはオープンにするのは後になりますので御承知おきください。

教育委員の皆さんから何かありますか。

(特になし)

それでは、本日は長い時間になりました。教育委員の皆さんにも長い時間、各社の教科用図書については見ていただいて、それぞれの意見をまとめていただいて、活発な意見を出していただきました。ありがとうございました。

一応、来年度から小学校で使う教科用図書については採択をしたということであります。三浦の子どもたちのためにという視点で、多くの意見を出して、採択をすることができました。本当にありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年第1回三浦市教育委員会臨時会を閉会いたします。お疲れさまでした。

傍聴者の方は御退出ください。

---

◇ 午後4時14分 閉会 ◇

---